

## 「施設長就任挨拶」

2019年度が始まりました。昨年度で7年間、総合ケアセンター駒場苑の施設長を務められた中村浩士が退任される事になり、4月1日より後任として坂野悠己が施設長に就任する事になりました。よろしくお願い致します。

私は18年前の20歳の頃に介護職の学生アルバイトとして介護の世界に入って以来、「なんでおむつが当たり前になっているのだろう？」「なんで機械のお風呂が当たり前になっているのだろう？」「なんで人を縛ったりするのだろう？」「なんで個別の対応が出来ないのだろう？」「なんで職員が利用者を叱っているのだろう？」という率直な疑問や違和感を抱き、そんな介護の世界を改善していきたいという想いで今まで、いくつかの施設で介護職として取り組んで来ました。

そして特養駒場苑と出会ったのが8年前。特養駒場苑がルネッサンスプロジェクトと銘打って「トイレでの排泄、個浴での入浴、椅子に座っての食事」という目標を掲げ、ケア改革中だった頃です。そのケア改革の助っ人として声をかけて頂いたのが駒場苑に入職するきっかけでした。

その後特養主任となり、駒場苑のケア改革に賛同する仲間も増え、施設のケア目標も「7つのゼロ」にバージョンアップして改革が進んでいきました。

「7つのゼロ」とは「寝かせきりゼロ・おむつゼロ・機械浴ゼロ・誤嚥性肺炎ゼロ・脱水ゼロ・拘束ゼロ・下剤ゼロ」を掲げてご利用者の当たり前の生活を目指す介護です。現在では駒場苑の改革にとどまらず、「7つのゼロ」の想いを日本全国の介護現場にも届けたく各地で講演させていただいています。全国から見学にいらっしゃる方もあり、施設ケアの良い見本となれるようこれからも努力を続けて参ります。

2014年には特養主任から駒場苑グループの施設長補佐になり、前施設長の中村浩士とコンビを組んで、駒場苑グループとしての経営改善や人材不足の中での採用活動等の試行錯誤をして参りました。改善した部分もありますが、未だ課題として残り試行錯誤をしているものもあります。そして今年度からは施設長として、これらの事を今度は各主任達とそれぞれコンビを組みながら進めて参ります。

いつまでも介護の世界に入った時の想いを忘れずに、駒場苑グループ全事業所において、ご利用者に出来る限り不快のないその人らしい生活を過ごしてもらえよう、そしてそれを直接的に支える介護職員が心の余裕を持って集中してご利用者に向かい合えるような環境作りや仕組み作りの為の人材確保と経営改善をしていくのが今後の私の役割だと思っております。

まだまだ未熟ではありますが、中村同様ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2019年4月1日

駒場苑 施設長 坂野悠己